

地域ふるさと 振興校

学 校	学 科	課 程
住田高等学校	普通科	全日制

URL (note) <https://smi-hs.note.jp/> 電 話 0192-46-3141



入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 「このような生徒を待っています」

- ・時代を先取りし、今の自分を大切にしながら、新しいことに挑戦して、地域社会の活性化に貢献したいと考える生徒

地域との連携体制等

連携先	住田町教育委員会、住田町社会福祉協議会、住田町商工会、ふるさと創生大学、岩手大学、岩手県立大学、津田塾大学、秋田公立美術大学、（一社）邑サポート、（一社）SUMICA、住田町立保育園・小学校・中学校
具体的な取組	・住田町や気仙地域をフィールドに自らの課題を発見し探究する「地域創造学」に取り組んでいる。 ・保育園児の森林学習のサポート「森の保育園ボランティア」や高齢者のお宅へ訪問して奉仕活動を行う「すみたおたすけ隊活動」、小学生の森林環境学習のサポート「種山学習ボランティア」など、住田町や気仙地区のボランティア活動に多数参加しキャリア形成を図っている。

入学後の居住環境①

住居の状況	『高橋旅館』 住田町世田米字世田米駅 68 電話 0192-46-3018 （各個室フリーWi-Fi環境及び冷暖房完備、最寄りバス停「世田米大崎」まで徒歩1分、バス停から住田高校まで4.8km約10分）
食事の提供予定	平日2食（朝・夕）、休日は自己負担 （昼食は年間150食程度、住田町が給食を全校生徒に無料提供）
通学方法・時間	住田町コミュニティバス（片道約10分）
費用（学校の諸経費や通学費用を除く）	住田町が宿泊費の2/3を補助するため、自己負担額は毎月30,000円程度（朝夕の食費込み、光熱費は別途負担）
サポート体制	住田町教育委員会による生活相談 急病時などには、住田町教育委員会、下宿先、住田高校職員が連携して対応

入学後の居住環境②

住居の状況	『SumiBASE（スミベース）～みらいを育む第二の家～』 住田町が指定する住田町近郊の下宿先
食事の提供予定	平日2食（朝・夕）、休日は自己負担 （昼食は年間150食程度、住田町が給食を全校生徒に無料提供）
通学方法・時間	住田町コミュニティバス等 片道の通学距離が6.0km以上の場合には、住田町が通学費の2/3を補助する
費用（学校の諸経費や通学費用を除く）	住田町が宿泊費の2/3を補助するため、自己負担額は毎月30,000円程度（朝夕の食費込み、光熱費は別途負担）
サポート体制	住田町教育委員会による生活相談 急病時などには、住田町教育委員会、下宿先、住田高校職員が連携して対応

選 抜 方 法 等	【募集定員】 4 名 【選抜日程】 出願期間 令和 8 年 1 月 14 日（水）～ 19 日（月） 検 査 日 令和 8 年 1 月 27 日（火） 集合時刻 8：30 終了時刻 11：00（予定） 【選抜方法】 1 調査書（学習の記録）（150 点） 「中学 1 年の 9 教科の評定合計（45 点）＋中学 2 年の 9 教科の評定合計の 2 倍（90 点）＋ 中学 3 年の 9 教科の評定合計の 3 倍（135 点）」の合計 270 点を圧縮 2 志願理由書（30 点） 評価の観点（配点）：志願意欲等（15 点） 入学後に取り組みたい活動の具体性（15 点） 3 面接（120 点） ・ 個人面接（15 分） ・ 評価の観点（配点）：人物について（目的意識・社会認識・自己認識・人間性・地域への関 心）（100 点） 表現力（20 点） 4 作文（100 点） ・ 提示されたテーマについて 600 字程度で自分の考えをまとめる（50 分） ・ 評価の観点（配点）：表記（20 点） 表現（30 点） 内容（50 点） 《合計 400 点》

《志願及び受検にあたっての留意事項》

- ・ 出願にあたっては、必ず志願者本人及び保護者が事前に学校を見学し、入学後の学習環境や居住環境についての説明を受けること。
- ・ 出願の手続は「岩手県立高等学校入学者選抜実施要項」によること。
- ・ 他の公立高等学校と併願できないこと。